

広臨技ホームページ<http://www.hiroringi.or.jp/>  
(ケイタイサイトへ <http://mw.hiroringi.or.jp/entrylist>)

## 第29回 広島県医学検査学会を終えて

第29回広島県医学検査学会  
実行委員長 丹下 富士男

第29回広島県医学検査学会が3月3日(土)、4日(日)の両日にわたりKKRホテル広島において「未来への継承」～語り継ぐべきもの～というテーマにて開催されました。あいにく、4日は雨で足元も悪かったのですが、参加者数は延べ391名(会員258名、賛助会員他68名、学生29名、一般36名)と多くの方に参加していただきました。

学会に先立ち連絡責任者会議が開催され、板羽会長より日臨技報告、続いて竹本渉外法規部長より広臨技の一般社団法人への移行の流れについて説明がありました。また今回は総会が開催されないため会員との意見交換会も行われました。

学会は15時15分より板羽学会長の会長挨拶から始まり、シンポジウムでは「震災対応」と題して、昨年3月11日に発生した東日本大震災を振り返り、救援・支援活動を行われた5名のシンポジスト(医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、メーカー)の体験談を講演していただき未曾有の危機に対して我々医療従事者として、また一人の人間として改めて何をすべきかということをしかりと考えさせられたシンポジウムとなりました。

その後、同会場において懇親会が行われました。広島市立広島市民病院の河野 浩善技師、長井 友子技師のフレッシュな司会のもとに楽しいイベントもあって大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

2日目は、午前中一般演題14題の発表があり、活発な質疑がありましたが座長のスムーズな進行により予定の時間通りに進行いたしました。

正午からは、二つの会場に分かれてランチョンセミナーとして「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(シスメックス CNA 株式会社)、「HbA1cの国際標準化の動向」(東ソー株式会社)について講演が行われました。

13時10分からの教育講演では、大楠 清文先生(岐阜大学大学院 准教授)に「論文の書き方のコツ&ポイント」と題して論文執筆のスキルアップのコツをはじめ、論文の書き方を解り易く講演していただきました。これを機会に是非とも本日発表された方、また会員の方で日頃から積み重ねた研究をまとめ上げられて論文投稿していただきたいものです。

そして、臨床検査のプロモーションタイムに続き、14時40分から一般公開講座として「腸内細菌は敵か味方か」と題して、TV等や広島県内外において腸内細菌に関する研究で著名な大毛 宏喜 先生（広島大学病院 感染症科 教授）に講演をしていただきました。私たちが生きて行くために食べ物の栄養成分の分解、消化、吸収に重要な働きをしていて人間の健康と深く関わりのある腸内細菌のお話で、腸内細菌が発酵によって作り出したガスや悪臭成分である「おなら」や「便」の秘密や消臭について、また「大腸がん」、「口腔衛生」等、大変興味深い内容で一般市民の皆さんに対しても理解し易い話し方をしていただいととても好評な講演となり時間のたつのが早く感じるほどでした。

一般公開講座の終了後、一般演題優秀演題賞の授賞式があり、当会 参与の安松 弘光先生から優秀演題賞として選考委員より推薦された「当院 NST における検査部の取り組み」井村 仁美技師 呉共済病院が受賞いたしました。学会実行委員長という大役で多小お疲れモード（前日飲み過ぎ？）の私に自施設が受賞という良報が届き大変うれしく思いました。今回の受賞をひとつのステップとして、次のワンランク上の学会発表や論文投稿に繋げて行けるよう指導できればと思います。

学会の締めくくりとして水野副実行委員長の閉会挨拶で全てを終了しましたが、今回は学会テーマにも沿った形で、次世代を担っていただきたい年代の会員の方々に企画、運営等を担当していただき、常務理事がサポートする形式で準備いたしました。震災（災害）での教訓、また臨床検査の知識、技術の継承のみではなく少しでも『広臨技の心』が継承できたものと信じております。今回の経験が平成25年度担当の中四国支部医学検査学会をはじめ、これからの広臨技活動に生かされれば幸いです

ご支援、ご協力をいただきました一般会員、賛助会員、実行委員会、実務委員の皆様へ深く感謝申し上げます。



板羽 秀之 学会長



教育講演 大楠 清文 先生



一般公開講座 大毛 宏喜 先生



テーマ「震災対応」シンポジストの皆様



一般演題優秀演題賞 呉共済病院

## 各施設連絡責任者及び技師長等会議議事録

開催日：平成 24 年 3 月 3 日（土）13 時 30 分から 14 時 50 分

会場：KKR ホテル広島

### 1. 板羽会長より日臨技の活動について報告があった。

#### ①日臨技会長選挙について

会員個人宛てに投票用紙、また総会委任状が届きます。会長選には、現職の高田氏そして、長野県会長の宮島氏が立候補されているが、広臨技としては、自主投票を決めたので、候補者の選挙広報を熟読して是非、投票をと呼びかけがあった。

#### ②日臨技の法人化とそれにとまなう組織改編について

日臨技は今年 4 月から一般社団法人として運営していくことが総会で決定した。また、地区組織が変わり、支部制となり中国地区は、中四国支部となった。（平成 23 年 12 月 1 日から）中四国支部の役員は、支部長は、野村氏（香川県）副支部長は岡本氏（岡山県）土居氏（愛媛県）小郷氏（岡山県）そして、中四国の各県の会長が幹事として支部を運営していくことになる。これまでの中国地区技師会は、今年の 2 月をもって解散となった。中国地区会長であった谷口氏は退任となった。尚、中国技師会に対して会員一人当たり 300 円の活動助成金は廃止となった。

#### ③全国学会、中四国支部としての学会、研修会について

平成 24 年度の全国学会は、6 月に三重県で開催。平成 25 年度は香川県での開催が決定している。

今年、広島県では、11 月に臨地実習の研修会と 11 月か 12 月に微生物関連の研修会が予定されている。

#### ④日臨技総合研究所の立ち上げについて

日臨技では、莫大な事業やその運営が大変なので、日臨技総合研究所を立ち上げて運営を行うことが検討されている。まだ、決定していながこの方向性は動いている。

### 2. 竹本渉外法規部長より「広臨技の法人化」についての報告があった。

最初に法人とは、どんなものか説明された。営利法人と非営利法人がり、広臨技は、非営利法人である。公益法人制度改革が平成 18 年に行われ、平成 20 年 12 月以降 5 年以内に新法人に移行することが義務付けられた。そこで、一般社団法人とするか公益社団法人とするか検討を始めた。法人の区分に公益法人制度改革 3 法によるもの、法人税法による区分がある。当会は、会員の会費で運営していくものである。公益法人は、公益性の高い事業運営を行うことや、監督官庁の指導を受け、会計書類をはじめ多くの書類を毎年作成して提出することなど役員が負担が多いことなどから一般社団法人として事業を行うことを決定したと配布資料を基に報告があった。

この間、末広司法書士の指導を受けながら理事会での法人化の勉強会、常務理事の勉強会、書類の申請等について時系列を追って報告があった。本年、4 月には新法人の認可見込みである。

### 3. 以上の報告後、質疑応答に入った。

（質問）日臨技の法人化はどうか、公益となると広臨技はどうか？

（回答）会長：先ほどいいましたが、日臨技は、一般でいくようです。また、他県も一般社

団への移行が多数あるが、公益も多少見られる。日臨技は、将来的には公益団体の検討もするという考え方である。

4. 会長より追加報告をされた。

①役員（専務理事）の報酬（年俸）を 800 万円とすることが決定された。尚、仕事を持つての役員に報酬は支払わない（職場で給与が支給されている）

②新たな組織になるので、諸規定の見直しを行う。（新法人としての規定を作成）

③技師会誌の発行について

現在、広臨技会誌を年 1 回、県学会抄録集を発行しているが、新たに会誌を学術誌としての発行を予定している。会員の論文投稿をお願いする。

5. 引き続き再度質疑応答に入った。

（質問） 来年、広島が担当する中四国支部学会の日程は決定しているのか？

（回答） 会長より、今年は岡山で開催、来年 11 月 8 日（土）9 日（日）に国際会議場で開催予定。新法人になって実行委員会を立ち上げていくので協力要請があった。

（質問） 新法人にともなう現役員の任期はいつまでか？

（回答） 会長より、新法人は、年 1 回の総会となる。新しい規定で次の役員を選出となる。現役員は、6 月に登記が行われるのでそこまでの任期となる。（やむなく退任する場合は、辞表提出が必要）

6. その他連絡

会長より、先日、精度管理研修会もありましたが、広島県の基準範囲統一化に是非協力してほしい、医師会と一体となって広臨技も支援していく。また、日臨技の認証を取得していない施設は、是非認証取得をお願いします。

田中事務局長より、日臨技より、投票用紙が各個人に届くので必ず提出してください。2 月末に平成 24 年度会費が引き落としとなるが、今年度で退会の会員で、退会届が遅れて、既に会費が引き落とされた方は、4 月に日臨床技ホームページで会費返却申請手続きのお知らせがあるので、それを参照して手続きを行うと返金されるので該当者があれば伝達をお願いします。

以上で閉会した。



重要

### 《事務局からのお知らせ》

★日臨技平成 24・25 年度会長選挙について

会員の皆様のお手元に届いている、**会長選挙投票用紙（はがき）**をご記入のうえ平成 24 年 4 月 6 日までに到着するようにご投函してください。会長選挙に関する公報等は、日臨技 HP 及び会誌「医学検査」第 61 巻 1 号（1 月号）・2 号（3 月号）でご確認下さい。

★平成 24 年 3 月末で退会予定の方へ

**退会手続き**を必ずお願いします。

（日臨技ホームページより「**会員異動届**」をダウンロードし日臨技へ提出）

会費引き落としまでに退会手続きが間に合わず、会費が引き落とされた時は「**会費返金願**」を日臨技へ提出することで返金されます。詳しくは日臨技ホームページへ



## 平成 23 年度 第 4 回理事会議事録

日 時：平成 24 年 1 月 7 日（土） 15：00～17：00

場 所：広臨技事務所

出席者：板羽・足免・丹下・田中・藤上・竹本・小原・矢野・笹谷・米田・河岡・荒瀬・播野・  
長岡・森本・坂田・岩増・有谿・新川・巻幡・鈴木・新田・若林

書記： 組織調査（巻幡・笹谷）

### [報告事項]

会長報告：

#### ①日臨技中四国支部について

- ・12月1日より中国地区技師会は日臨技中四国支部になった。中国地区の幹事会が開催されていないが大きな変わりはない。2月11日に旧中国地区技師会の解散式があり、板羽会長・水野副会長が出席。また、安松参与・白石参与が招待者として出席する。
- ・中国地区技師会から旅費が支給されるが、5,000円を各県で負担するように指示があった。
- ・中国地区技師会解散に伴い、中国地区技師会から約7万円が各県へ返金される予定である。

#### ②法人化への進捗状況

- ・4月1日から一般社団法人移行を目指して各担当部長が規定を見直し中である。
- ・3月の理事会で承認を得て、4月から新しい規定の運用を開始する。
- ・役員の任期は、登記上6月までの任期になり4月以降に新法人の規定に基づいて役員（理事）を選出する。総会は年一回になり6月の総会で承認される。
- ・現役員が3月31日付けで辞任する場合は辞表を提出する必要がある。
- ・新社団法人設立総会を4月に開催するかは未定である。

#### ③日臨技経費について

- ・従来の国民医療助成金は廃止され、変わって公益目的事業費（癌は9月・10月でエイズは通年などの事業）として、1事業に対し20万円で最大40万円までの助成金がある。
- ・臨床検査データ標準化事業に4万円助成、基幹施設に3万円助成、施設認証制度に5万円助成される。また、新しく日臨技から研修会に助成金が支給される。研修会1回につき5万円が助成され、20回まで（100万円）の助成がある。広島県では20回以上の研修会があるが、どのような内容で支給されるかはまだ不明である。

経理部からの質問：

新法人になるが、来年度予算と今年度決算の承認までのスケジュールを確認したい。

回答：

- ・予算案は、平成24年度4月から6月までの暫定予算を3月の理事会で承認する必要がある。
- ・1年間の予算案を6月総会に提出するが、総会で予算の承認は必要ない。また、平成25年度の4月から6月の暫定予算を組んでおく必要がある。
- ・決算は、6月までの理事会に提出し6月の総会で承認される。

### [各部報告]

事務局：

速報の発送業務を行った。技師会役員の傷害保険は廃止になる。会員が全員加入の賠償責任保険の保障内容と変わらない。

学術部：

来年の日本医学検査学会（三重県）の座長推薦4名を選出した。

医学検査特集誌の都道府県技師会推薦論文として広島県学会で発表の中国中央病院 三浦理恵技師の論文が掲載予定。

経理部：

会費の納入状況は、23年11月締めで、12月27日入金があった会員数 新入会員68名・（新入55名・再入会13名）・継続会員1,422名・県会員1名。合計で、1,491名。

加えて、5人分会費収入がある。

訂正とお詫び：9月の入会員数報告で13名ほど多く報告しています。継続1,432名を1,419

名に総数 1,488 名を 1,475 名に訂正変更をお願いします。

#### 渉外・法規部：

- 10 月 31 日 新社团法人への手続きの書類を提出。
- 11 月 19 日 ピンクリボンキャンペーン
- 12 月 3 日 福山でエイズ予防啓発キャンペーン 受診 37 名で全員陰性
- 12 月 10 日 広島でエイズ予防啓発キャンペーン 受診 67 名で全員陰性
- 日臨技から功労賞・永年表彰を確認要請 1 月 9 日までに確認。

#### 組織調査部：

3 月 3 日の広島県学会前の連絡責任者会議の案内と懇親会の出欠の案内を速報に載せた。  
どなたでも参加できますので、多くの施設へ啓発をお願いします。

#### 広報部：

会誌発行は 1 月の予定です。

### [各地区理事報告]

#### ○広島地区：

報告なし

#### ○呉地区：

- |      |           |                       |           |
|------|-----------|-----------------------|-----------|
| 活動報告 | 9 月 14 日  | 第 2 回呉地区細胞診研修会        | (参加 12 名) |
|      | 9 月 28 日  | 呉地区研修会 (臨床化学)         | (参加 6 名)  |
|      | 10 月 19 日 | 呉地区微生物研修会             | (参加 7 名)  |
|      | 10 月 20 日 | 呉地区輸血談話会              | (参加 14 名) |
|      | 10 月 27 日 | 呉地区研修会 (臨床化学)         | (参加 12 名) |
|      | 11 月 9 日  | 第 3 回呉地区細胞診研修会        | (参加 17 名) |
|      | 11 月 11 日 | 呉地区血液研修会              | (参加 26 名) |
|      | 11 月 18 日 | 呉地区心エコー勉強会            | (参加 20 名) |
|      | 11 月 25 日 | 呉地区リエクレーション (ポーリング大会) | (参加 43 名) |
| 活動計画 | 2012 年    |                       |           |
|      | 1 月 19 日  | 呉地区輸血談話会              |           |
|      | 1 月 27 日  | 呉地区管理研修会              |           |
|      | 2 月 10 日  | 呉地区血液研修会              |           |
|      | 2 月 17 日  | 呉地区微生物研修会             |           |
|      | 2 月 23 日  | 呉地区血液研修会              |           |
|      | 3 月 14 日  | 第 4 回呉地区細胞診研修会        |           |

#### その他

(質問) 5 月 26 日・27 日 2012 年減塩サミットが呉の大和ミュージアムである。  
臨床検査の方から高血圧・生理検査に関する演題募集があるが、募集はどのように進めたらいいか？

(回答) 広臨技に共催依頼を提出してください。そうすれば活動できます。

#### ○東部地区：

- |      |           |                    |           |
|------|-----------|--------------------|-----------|
| 活動報告 | 9 月 1 日   | 第 2 回東部地区感染制御部門研修会 | (参加 34 名) |
|      | 9 月 10 日  | 東部地区血液研修会          | (参加 10 名) |
|      | 9 月 17 日  | 病理・細胞診・生理合同研修会     | (参加 46 名) |
|      | 9 月 22 日  | 第 3 回生涯教育          | (参加 70 名) |
|      | 11 月 12 日 | 東部地区学会             | (参加 59 名) |
|      | 11 月 13 日 | 日臨技精度管理報告研修会       | (参加 45 名) |
|      | 11 月 17 日 | 東部地区生理検査研修会        | (参加 28 名) |
|      | 11 月 24 日 | 第 4 回生涯教育          | (参加 34 名) |
|      | 11 月 26 日 | 備後糖尿病療養指導士セミナー     | (参加 2 名)  |
|      | 11 月 27 日 | 福山医学祭              | (参加 43 名) |
|      | 12 月 3 日  | 世界エイズディーキャンペーン     | (参加 10 名) |

- 12月3日 東部地区一般検査研修会 (参加 37名)  
 12月8日 第3回東部地区感染制御部門研修会 (参加 35名)  
 12月10日 標準化事業報告会(東部地区) (参加 43名) 9/3の延期  
 12月11日 東部地区レクレーション(三原) (参加 12名)
- 活動計画 2012年  
 1月15日 東部地区病理・細胞診研修会  
 1月21日 東部地区輸血研修会  
 1月26日 第5回生涯教育
- その他  
 3月未定 小規模病院の意見交換会を検討  
 尾道市でもエイズディーキャンペーンを実施している。  
 内容など確認して今後の活動を検討する。

#### ○東広島地区：

- 活動報告 9月15日 第15回がん関連研修会 (参加 21名)  
 10月25日 東広島地区意見交換会 (参加 24名)
- 活動計画 2月 第16回がん関連研修会

#### ○北部地区：

- 活動報告 10月15日 北部地区一泊研修会 (参加 44名)  
 11月12日 北部地区研修会：庄原赤十字病院 (参加 15名)  
 12月3日 北部地区研修会：市立三次中央病院 (参加 35名)

#### [その他報告]

##### ①標準化委員会から

今年度の臨床検査データ標準化事業は若林さんの協力をいただきメーリングリストを用いた運用に変えて行った。日臨技へ期限内に集計結果を報告した。参加施設にはメールで集計結果の速報を報告した。施設認証制度については、現在11施設が申請。日臨技の提出期限は、1月20日。広島での審査期間は1月8日までで標準化員会で審査して、必要なものは施設へ連絡し、全施設が認証されるよう取り組んでいる。

##### ②広島県学会について

講演・演者・司会者が決まり抄録もほぼ揃い印刷に提出した。また、市民公開講座のポスターも作成し、配布する予定である。  
 広島県・広島市・広島県医師会・広島市医師会に共催依頼をし、承諾された。

#### [討議事項]

##### ①事務局・広報部から速報とカレンダーの発行の見直しの提案について

速報は、次月のカレンダーが間に合う様に月末にほぼ毎月発行しているが、12月は2回の発行と会誌の発行が重なり、非常に作業が大変になる。また2月には、広報の発行が無く、カレンダーのみを発送で研修会のお知らせが間に合わない場合がある。カレンダーについては個人会員には各自にあるが、施設には4人に1枚と不平等性もあり、提案として12月の発送は1回で、代わりに2月に速報を発行し、カレンダーを速報に挟み込み一人に一枚あるよう提案する。

##### 結論：

総会が、年一回6月になり3月の総会がなくなる。12月は、12月・1月合併号で新年号とする。速報の中にカレンダーを折り込みで入れる件と2月の発行の件については、各部協議の上、問題がなければ進める。

##### ②情報システム委員会から広臨技 Web ページ公開の代表メールアドレスの運用変更の提案

広臨技 Web ページ公開のメールアドレスには、迷惑メールが多く事務作業の負担になっている点と公開のメールアドレスは内部連絡用にするべきではなく、誤送信の危険がある点。改善策として、①迷惑メールと必要なメールについて仕分け・伝達・連絡は情報システム委員が担当する。②理事関係の業務に使用する専用アカウントを新設する提案。

##### 結論：

各役員にまだ非公開の文書などを情報システム委員が判断して仕分けすることは、いかがなものか。また、病院でそれらの作業することは各施設の了解が必要で永続的な仕組みではない。技師会事務作業を集約するために、事務所を設置したのであって、作業を分散することは、情報の分散やセキュリティに問題がある。迷惑メールを減らす方法をまず優先的に検討してほしい。

- ③ (社) 日本臨床衛生検査技師会理事 谷口 薫技師を小島三郎記念技術特別賞 (福見秀雄賞) に広島県臨床検査技師会から推薦する。
- ④ 新団体法人日本臨床検査技師会会長の選挙にあたり、長野県の宮島善文さんが立候補され現会長の高田鉄也さんも立候補される予定。広島県臨床検査技師会として、どちらの方を推薦するかを決める時期が迫っている。常務理事でもう少し検討し決めていく。

## 総合管理部門&生物化学分析部門合同研修会のお知らせ

早春の候、会員の皆様にはお元気でご活躍と思います。

この度、総合管理部門&生物化学部門で下記のように合同研修会を開催いたします。内容は、これからの検査(質量分析)と今回の診療報酬改定のポイントです。どちらも現状と今後の方向性を考えるための研修です。是非、部門を越えてご参加をお願いいたします。

### 【テーマ】

#### ① 質量分析とは? 現在の分析から今後の動向について学ぼう。

- \* 液体クロマトグラフと質量分析
- \* 新しい分析技術が、今後の臨床検査にどのように利用されていくのか?
- \* 最新の臨床アプリケーションの紹介

#### ② 診療報酬改定について、検査室はどういう方向に向うの?

- \* 保険点数はどうやって決めているの?
- \* もう一度 DPC と臨床検査について学ぶ
- \* 今回の改定のポイントは?
- \* 今後の検査室はどうあるべきなの?

記

日時: 平成 24 年 4 月 28 日 (土) 14 時 30 分~17 時 00 分

会場: 市立 広島市民病院 10 階 講堂

TEL 082 - 221-2291 (広島市中区基町 7-33) 当日連絡先: 090-5377-1615

### 講演 1 「質量分析法を用いた臨床アプリケーションのご紹介」

株式会社 エービー・サイエックス事業戦略推進本部 小梶哲雄 先生

### 講演 2 「平成 24 年診療報酬改定 病院全体の動きに検査科はどう関わるか?」

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社  
ラボラトリー営業部 キーアカウントグループ 松尾久昭 先生

(共催) シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

(問い合わせ) 広島市立広島市民病院 検査部 飯伏 義弘 (TEL: 082-221-2291)

吉田総合病院 臨床検査科 岩増 良雄 (TEL: 0826-42-0636)



# 平成 24 年度（社）広臨技生涯教育講座のご案内

平成 24 年 4 月 2 日

（社）広臨技生涯教育委員会

早春の候、皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 24 年度の生涯教育講座は、多方面にわたっての内容となっております。講師は各分野における専門の先生や他のメディカルスタッフにお願いし、わかりやすく解説していただきます。広島地区・東部地区で同じ内容の講座を計 5 回行います。

開講にあたって申し込みいただいた人数分のテキストを作成しますので、申し込みされた方には、必ず受講料をお支払いいただきます。このことを十分ご理解いただき、会員の皆様には大変ご多忙とは存じますが、生涯教育の必要性を認識してご参加いただきますようご案内申し上げます。

広島地区での開催は、会場の都合で定員 175 名です。受付先着順といたしますので、あらかじめご了承ください。

全て生涯教育研修履修で獲得し難い基礎点となっておりますので、修了証書の取得を目指している方はぜひご参加ください。（日臨技の各種認定試験の受験資格には修了証書が必要です。）

## 1) 生涯教育講座予定（基礎：20 点）

**第 1 回 「 甲状腺疾患について 」(仮題)**

**第 2 回 「 不妊治療について 」(仮題)**

**第 3 回 「 異常気象について 」(仮題)**

**第 4 回 「 血液センター part II 」(仮題)**

**第 5 回 「 日常に役立つ介護 」(仮題)**

2) 日	程：	広島地区	東部地区
	第 1 回目	5 月 9 日 (水)	第 1 回目 5 月 23 日 (水)
	第 2 回目	7 月 12 日 (木)	第 2 回目 7 月 26 日 (木)
	第 3 回目	9 月 12 日 (水)	第 3 回目 9 月 27 日 (木)
	第 4 回目	11 月 1 日 (木)	第 4 回目 11 月 29 日 (木)
	第 5 回目	1 月 23 日 (水)	第 5 回目 1 月 24 日 (木)

**※広島地区は会場の都合により 1・3・5 回目は水曜日となります。ご注意ください！**

**※東部地区、1 回目は講師の都合により水曜日となります。ご注意ください！**

3) 場	所：	広島地区 1～5 回目	広島市立広島市民病院 10 階 講堂
		東部地区 1・3・5 回目	福山医師会館
		2・4 回目	尾道市立市民病院

4) 時 間： 広島地区 18：30～20：00 東部地区 18：45～20：15

5) 受 講 料： 2,000 円（第 1 回目に集金します。）

6) 受 講 方 法： 毎回、会員証及び受講票を持参してください。

## お詫びと訂正

(社) 広島県臨床検査技師会誌 No108 Jan2012 に掲載しました平成 22 年度 第 28 回 広島県医学検査学会 論文に間違いがありました。ここに訂正して謹んでお詫び申し上げます。なお、訂正後の論文は次回広島県臨床検査技師会誌に再掲載させていただきます。

- ◆「当院における運動負荷 ABI 検査の有用性」福山市民病院 木曾仁美 技師の論文 19 ページ 図 5 運動負荷後 AP 値の低下と病変の比較

(誤)

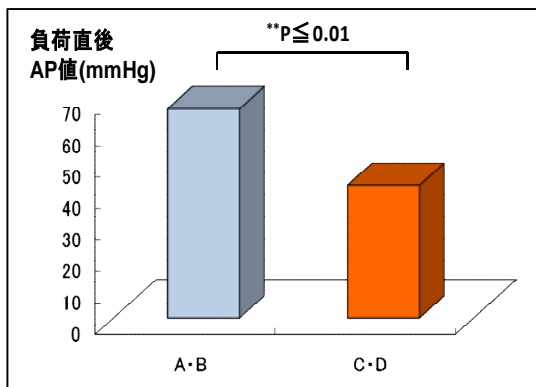


図 5 運動負荷後 AP 値と病変の比較

(正)

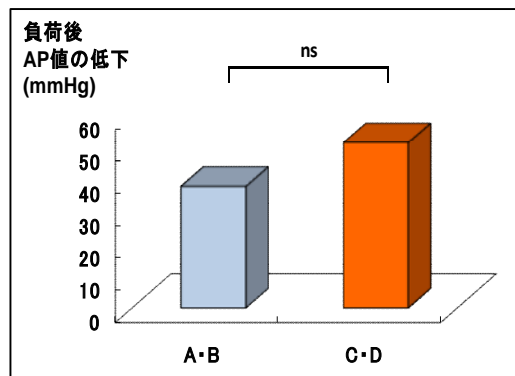
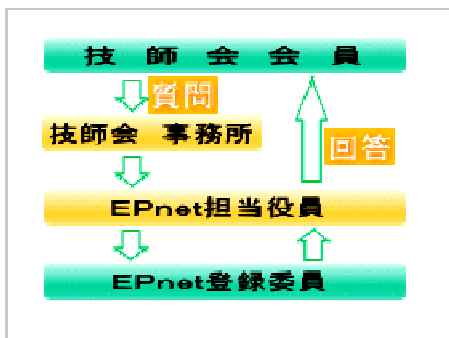


図 5 運動負荷後 AP 値の低下と病変の比較

## ■ エクスペリエンスネットワーク (EPnet)



広臨技では平成 18 年にエクスペリエンスネットワーク (EPnet) を立ち上げ、医療現場において発生する様々な問題に対し、EPnet 登録委員の協力のもと助言や情報の提供を行っています。日頃の業務で遭遇する様々な疑問、悩みをお気軽にご相談ください。

また情報を共有することを考え、一部情報を公開することにしました。内容について相談者の承諾のもと、速報・ホームページ等で公開していきたいと考えています(個人情報は一切公開いたしません)。

### ■ EPnet 登録委員 募集中!

検査部門の運営や技術的な諸問題及び学術的支援に対して回答や助言をしていただける EPnet 登録委員を募集しています。経験豊かな技術や知識を習得された会員の皆様のご協力をお願いします。

※一度登録されますとお申し出のない限り継続されます。

【問い合わせ先】 厚生連広島総合病院 臨床研究検査科 笹谷 真奈美  
TEL 0829-36-3111 内線 2247



## 「レッドリボンキャンペーンに参加して」

山陽女子短期大学 臨床検査学科 1年  
曲田 亜優美

今回、「レッドリボンキャンペーン in ひろしま 2011」のボランティアに参加して、エイズや HIV に対して関心を持っている方が少ないと思ったのが第一印象でした。

ボランティアを行う前、エイズや HIV について勉強した時に、HIV 感染=エイズではないこと、HIV に感染してから数年、あるいは 10 年、さらにそれ以上の期間、症状があまりなく発病しない潜伏期間があること、日常生活で HIV に感染する可能性が極めて少ないことを知りました。

私は、このボランティアに参加させていただくのは 2 回目でしたが、1 回目よりも 2 回目の方が HIV 検査に興味を持たれた方への応答がスムーズにでき、1 人でも多くの方に関心を持ってほしいという思いで呼びかけをすることができました。

街頭で啓発品を配っていると、嫌な顔をして通り過ぎていく方や面白半分で近寄ってくる方などたくさんいました。その中でも、私が一番驚いたのは「エイズじゃないんで必要ありません」と言い、通り過ぎていく方がいたことです。私は、その言葉を聞いてとても残念に思いました。それと同時に、何も言えなかった自分を悔みました。そういう方にこそ、エイズや HIV は誰でもうつる可能性があるということを知ってもらい、もっと関心を持ってほしいと伝えるべきだったと思います。しかし、大半の人が自分には関係ないと思っているのではないのでしょうか。私たちに出来ることは、正しい知識を持つこと、関心を持つこと、差別・偏見を持たないことです。少しでも、HIV に感染する人を減らすためにも、より多くの人に関心を持ってほしいと強く思いました。

また、嬉しかったこともありました。検査を受ける方を検査会場まで案内している時に、「検査ってどうやるんですか？」と聞かれて採血 (5ml) すること、約 30 分で検査が出来ること、匿名で検査が出来ることを伝えると、「前から HIV 検査に興味はあったけれどなかなか検査を受ける勇気が出なかった」と言われていました。私の言葉で HIV 検査を受けてみようと思ったと言っていたことがとても嬉しく、コミュニケーションの大切さを感じることができました。

とても達成感のあるボランティアに参加させていただいたことは、良い経験になり、私自身も成長することができました。スタッフの皆様にも良くしていただいて、和やかな雰囲気ですボランティアに参加することができました。機会があれば、またレッドリボンキャンペーンに参加したいです。ありがとうございました。

### 広臨技求人のご案内 (2012. 3. 12 現在)

問合せ先 (社) 広島県臨床検査技師会 事務所 FAX (082)502-6031  
技師会ホームページから求人登録をすると求人の詳細をご案内します。

受付 No	受付日	施設形態	所在地区	雇用形態	採用人数	募集業務内容
201	平成 23 年 11 月 10 日	病院	安芸高田市	②臨時職員	1 名	臨床検査生理部門
202	平成 23 年 11 月 10 日	診療所	広島市南区	①正社員	1 名	
203	平成 23 年 11 月 15 日	診療所	広島市安佐南区	①正社員	1 名	臨床検査
204	平成 23 年 11 月 21 日	病院	広島市安佐北区	①正社員	2 名	臨床検査全般
205	平成 24 年 1 月 19 日	診療所	広島市南区	①か③も可	1 名	臨床検査全般
206	平成 24 年 1 月 19 日	診療所	広島市中区	③パート	1 名	生理検査・採血業務
207	平成 24 年 2 月 1 日	病院	岡山県笠岡市	③パート	1 名	臨床検査全般
208	平成 24 年 2 月 1 日	病院	広島市中区	③パート	1 名	臨床検査業務
209	平成 24 年 2 月 13 日	病院	広島市南区	③パート	3 名	臨床検査科における検査業務
210	平成 24 年 2 月 20 日	病院	広島市安芸区	①正社員	1 名	超音波検査・臨床検査全般
211	平成 24 年 2 月 21 日	機器メーカー	広島市中区	①正社員	1 名	超音波診断装置デモ・操作トレーニング

## 随想録

ヘルシーレストラン『すこやかサロン』においで下さい

黒瀬クリニック 前田純子

「カロリーの摂りすぎに注意しましょう」などと健診結果のコメントを入力しながら、本当に実践できる方は少ないんだろうなあと、自らに照らしてつい思ってしまう。「体脂肪のタニタ食堂」という本が売れ、今年東京丸の内にタニタ食堂がオープンしたのはご存じの方も多いでしょう。

実は、私の勤務している診療所では、2002年8月から『すこやかサロン』というレストランを2階にオープンし、当院の患者さんをはじめいろいろな方にご利用いただいていますので、今回はその『すこやかサロン』の紹介をしたいと思います。

『すこやかサロン』では、血糖値に影響の少ない人工甘味料や薬味、スパイスなどを利用し、減塩やカロリー制限を図っています。さらには調理法も工夫して油の摂取量を減らし、糖尿病・高血圧・腎臓病・膵臓病の患者さんにきめ細やかな食事を提供しています。予約制で注文時にご自分の身長・体重・基礎疾患を伝えていただきます。メニューは日替わりで、ご自分の体にあった食事を目で見て食べることができ、一食のご飯の量や肉や魚の量、塩加減まで口で確認していただけます。

もちろんメニューについての質問はレストランに常駐する管理栄養士がお答えします。

私もたまにエプロン姿でお手伝いに顔を出しますが、とても勉強になります。青魚など、私だったら1食にこの倍は食べているなあ・・・と、横目で見ながら仕事をしています。また青魚は自身の魚に比べカロリーが2倍あり、魚によって食べる量を加減しなければいけません。

こんな発見をしてみたい方、福山にお越しの際に一度体験してみませんか？季節ごとに写真のようなスペシャルメニューもありますよ。



節分スペシャルランチ

### 平成24年4月 行事予定表

5	木	常務理事会	広臨技事務所	18:30~20:30
6	金	広島血管診断セミナー	リーガロイヤルホテル広島	19:00~21:00
19	木	呉地区輸血談話会	呉共済病院 西館3階検査部	18:30~20:00
26	木	呉地区研修会	呉医療センター	18:30~19:30
28	金	生物化学分析部門&総合管理部門 合同研修会	広島市立広島市民病院 10階講堂	14:30~17:00

※平成24年4月の行事予定詳細や変更等は、広臨技行事予定表およびホームページ [info@hiroringi.or.jp](mailto:info@hiroringi.or.jp) でご確認下さい。

